

まちの応援マガジン いなわしろ

広報

猪苗代

Jan.2016

1

No.663

良い年になりますように





猪苗代町長

前後

公ひろし

新年明けましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては、希望に満ちた清々しい新春をお迎えのこととお慶びを申し上げます。

昨年の6月には、町民の皆様から多くの負託を賜り、町政2期目をスタートさせていただきました。

町のさらなる発展のため、公約として掲げております「町民総参加の開かれた町政」「産業や人が集まり活気あふれるまちづくり」「健全な行財政基盤の確立」「未来をひらく人づくり」「安全、安心住みよいくらし」を政策の中心に据え、スピード感を持って公平・公正な行政を執行してまいりますので、皆様の変わらぬご支援をお願い申し上げます。

昨年は、昭和30年の1町5カ村の合併により猪苗代町が誕生して60年という節目を迎えました。10月には合併60周年記念式典を行い、多くのご来賓をお迎えして、町民の皆様と祝うことができました。これもひとえに先人や町民の皆様のご努力、ご協力の賜物と感謝申

し上げます。

本年4月には、幼稚園、保育所一元化による認定こども園「ひまわりこども園」が開園いたします。今後もし子育て支援の一環として、働きながらも安心して子育てができる町づくりを目指し、未来を担う子ども達のために力を注いでまいります。

また、懸案事項でありました「道の駅猪苗代」は、昨年1月に国土交通省から、火山や豪雪などのあらゆる災害に対応する防災拠点として「重点道の駅」に選定されました。平成28年度のオープンに向け整備を進めており、今後は、「防災拠点」としての役割を果たしながら、「雇用の創出」「地場産業の開発」など、地域経済の活性化につながるものと大いに期待するところであります。

さらに、2020年の東京オリンピックに向け、オリンピック・パラリンピックの事前キャンプ候補地としても名乗りを上げており、「合宿の郷づくり」事業と共に誘客に努めてまいる所存であります。

結びにあたり、町民の皆様方には、

なお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、本年が、皆様にとりまして健やかで実り多い1年となりますよう心からお祈り申し上げます。年頭のごあいさつとさせていただきます。



猪苗代町議会議員

長沼

一夫かずお

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。町民の皆様には、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、日頃は町政ならびに町議会にご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

本町においては、昨年4月に旧町立病院が改修され「町地域福祉交流センター」として生まれ変わり、地域の福祉を支える拠点としてオープンしました。また、緑の村いなわしろ淡水魚館が「アクアマリンいなわしろカワセミ水族館」としてリニューアルオープンし、魅力ある水族館に生まれ変わりました。昨年12月には子育て支援と幼児教育・乳幼児福祉の拠点となる「ひまわりこども園」が落成となりました。また、観光・物産の情報発信の基地となる「道の駅猪苗代」は本体工事が着手となり、町活性化のための施設整備は着々と進められ、町政の進展に大いに期待するところであります。町議会といたしましては、町が抱える人口減少・少子高齢化対策、

定住の促進、雇用の創出など、さ

まざまな町政の課題の解決に向け、町民の皆様の声をお聴きし議論を重ね、皆様の期待にこたえるべく努めてまいります。

また、開かれた議会として多くの町民の方々に議会の一端をご理解いただくため、一般質問を町ホームページ上で公開し、議会の活性化に取り組んでまいりましたが、さらなる議会改革が必要であり、昨年の9月定例会において議員定数を16人から15人に改め、本年2月に行われる町議会議員選挙で町民の皆様の審判を受けることとなります。

議員一人一人が、町民の皆様が安心して暮らせるまちづくりの実現に向けて研鑽を重ね、資質の向上に懸命に努力して参りますので、本年も変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新春に臨み、本年が皆様にとりまして幸せで実り多く、大いなる飛躍の年となりますよう心よりお祈りし、新年のごあいさつといたします。



猪苗代町教育長

土屋

重憲しげのり

新年明けましておめでとうございます。未来への確かな予感と希望に満ちたよき年をお迎えのこと、お慶び申し上げます。

さて、昨年は40度に迫るような、

猛烈な夏の暑さ、大型台風、爆弾低気圧、大陸の山火事等の異常天候と中東、ヨーロッパのテロ等々に我が国や世界が振り回された1年でした。

本町においては、7月25日、26日の第67回磐梯まつり、10月23日には町合併60周年記念式典が盛大に開催されました。前年を上回る参加者があつた、10月25日の猪苗代湖ハーフマラソンは強風で大変寒い日でしたが、各ランナーによる寒さを吹き飛ばす熱いファイトが感じられました。11月15日のふくしま駅伝では、町の部優勝を果たした前年以上のナイス・ランが見られました。

学校関係では、猪苗代中特別バドミントン部が全国大会で女子団体、シングルス・ダブルス優勝、長瀬小マーチングバンドが2度の東北大会出場、猪苗代中男女、東

年頭のごあいさつ

中女子チームの県駅伝大会への出場、学力向上面では、県の算数・

数学ジュニアオリンピックで猪苗代小児童の金メダル獲得など、各小中学校、幼稚園・こども園・保育所それぞれが存在感を発揮した素晴らしい取り組みが見られ、子どもたちの成長を実感することができました。

子どもたちの成長は、猪苗代の未来そのものです。今年も、子どもたちの未来に責任をもつ覚悟で、教育委員会3課（教育総務課、こども課、生涯学習課）一丸となつて頑張つてまいりたいと思います。具体的には、「志し高く未来を拓く人材の育成を目指して」の経営スローガンの下、①「確かな学力」を育む授業作り②「健やかな体」をつくる教育活動の推進、充実③国際化への対応と英語教育の推進、充実を重点事項として頑張つてまいる所存であります。4月にはひまわりこども園も開園します。どうか変わらぬご指導、ご鞭撻のほどお願い申し上げます。つといたします。

第14回「母から子への手紙」コンテスト

大賞 武藤恵美子さん(愛知県)

母さんはお前に謝ることにした。
中学三年生夏休み最後の日。お前は汚い靴下の中に小さな茶色の子ネコを入れて帰ってきた。母さんは動物なんて飼ったこととはなかったし、特にネコは目つきが怖くて子どもの時からあまり好きじゃなかった。だから、よくあるパターン通り徹底的に、うちでは飼えないと大声で怒鳴りつけたよな。お前が何も言い返さず背中を丸めて、両手でそっと包むように茶色の小さな命を抱いていたのを覚えている。
その後、近くの空き小屋に毛布やエサを用意して子ネコを育てていたらしいな。お前の妹から聞いた。お前が守り抜いたフワフワの柔らかな生き物はとうとう家族の一員になった。
遠くで寮生活を送るお前と会うことはほとんどないけど、お前が置いて行った猫とは毎日一緒だ。時々、(あの時はごめん)と言ってみる。そして、お前にもな。ごめん。

第14回「母から子への手紙コンテスト」の表彰式は昨年12月6日、学びいなで行われ、大賞を受賞した武藤恵美子さん(愛知県)らに表彰状や記念品などが贈られました。
このコンテストは、本町出身の医学者、野口英世博士の母シカが、渡米中の野口博士に宛てて書いた手紙にちなみ、母と子の絆を感じてもらおうと、平成14年から実施されており、毎年国内ばかりでなく、海外からもわが子への愛情をつづった多くの手紙が寄せられています。今回は、国内外から前回は上

回る1481編の作品が寄せられ、一次選考会では、町内のお母さん75人が50作品を選出。最終選考会では、芥川賞作家で福聚寺住職の玄侑宗久さん、エッセイストの大石邦子さん、春日居郷土館・小川正子記念館名誉館長の末利光さん、一次選考委員代表(猪苗代町お母さん委員長)の小林光子さんの4人が厳正に審査し、大賞、準大賞、日本郵便賞などの各賞を決定しました。
今月号では、大賞を受賞した武藤さんと町内の入賞者2人の作品を紹介します。

佳作 棚木敏世さん(川桁)

息子へ
大輔が生まれた瞬間、産婦人科の先生、爆笑したっけな。あまりの小ささに。
まわりの赤ちゃんが、ふにゃふにゃしている時も大輔はすでに、首がすわっているかのようでした。生まれた時のように、常に大きくあつて欲しいと思い、名前に「大」を入れました。
今でもどこからその自身は沸いてくるのか、一言一言が自信たっぷり、本当に頼もしい男の子に成長しました。お母さんは、結構この前向きな姿勢大好きです。でも、知ってるよ。めちゃくちゃ緊張して笑顔が引きつっていることも。心配かけまいとして、テンション高いことも。
いいんだよ。弱い部分もたまには、見せてもいいんだよ。家族なんだから。

大輔ファンクラブ第一号
お母さんより

佳作 佐藤京子さん(入江)

平成二十七年三月一日、今まで弱音を吐かなかったのに、余命をさとしたのか、福島市の病院に行く前「もう、この家には帰ってこれない」と言ったあの言葉。母ちゃんは、あんどとき何も声をかけることができなかったなあ。
今思うと、いろんなことが思い出されるなあ。本当におれの子かと思うくらい、何をするにも几帳面だったよな。だからおれのこと反対に、「本当におれの親なの?」とよく言われてたもんだった。返す言葉がなかった。
でも、三月十二日、母ちゃんが代わってやりたかったな。おめえは、仕事にもはげみ家族も愛し、病とも懸命に闘ってきたよな、それにしても六十五歳は、早かったな、告別式では、孫たちがじいじに話しかけるようにお別れの言葉をいっていたぞ。まだまだ孫たちの成長を見守ってゆきたかったべなあ。これからも、天国から変わらない優しい眼差しを注いで見ていてな。本当に今までお疲れ様だった。ありがとな。



猪苗代青年会議所、町商工会青年部、JAあいづ青年連盟猪苗代地区(農青連)の青年3団体は12月7日、町の振興を図ることを目的に新団体「猪苗代研究所(いなラボ)」を設立しました。
町の将来を担う青年が団体の垣根を越え、それぞれの得意分野を生かしながら、町の活性化のために力を合わせようと任意団体として組織しました。
同日、町内で開いた会合でそれぞれの団体が持ち寄った名称の案を発表し、団体名を決定しました。名付け親の土屋睦彦さん(農青連)は「観光や歴史、経済、産業などを研究し、猪苗代の発展のために活動する」という理念を盛り込んだ。さまざまなことに挑戦できるよう、限定的でなく、シンプルな名称にした」と発表しました。
発起人の一人、町商工会青年部の西村和貴部長は「3団体の強みを生かしながら、町の振興のために役立ちたい」と抱負を述べました。
新団体としての活動は、来年夏に猪苗代湖の天神浜で開催予定の音楽や食などを発信するカルチャーミックスイベント「オハラ☆ブレイク」で地元食の魅力のアピールする事業などを計画しています。

Pick Up

今月のイベント

町内の青年3団体が「いなラボ」設立

Contents — 【目次】

- 02 年頭のごあいさつ
- 04 Pick up
- 05 第14回「母から子への手紙」コンテスト
- 06 まちのわだい
- 08 笑顔でこんにちは／いなわしろみらい会議 かわら版／スクールトピックス／西館地区で歴史を振り返る写真展
- 10 いなわしろタウンページ
- 14 暮らしの情報広場
- 16 みんなの美術館／食生活改善推進員コーナー

まちの応援マガジン いなわしろ

広報猪苗代

Jan.2016
1
No.663

今月の表紙

年末のシルバー人材センターの恒例行事、しめ縄作りにいそしむ小椋美作さん(右=古城町)と佐藤芳平さん(左=木地小屋)。「新しい年が良い年になるように」と願いを込めながら、笑顔で縄をないました。



【撮影日】12月15日
【場所】シルバー人材センター



写真上__贈呈式に出席した、左から波多野光汰さん(吾妻中)、菅沼一路さん(猪苗代中)、佐藤常務理事、鈴木康之さん(東中)、星野秀正さん(猪苗代中)
写真右__佐藤常務理事から祈願米を受ける星野さん(右)と菅沼さん(中央)



米を食べて志望校合格を

J A あいづが中学生に合格祈願米贈呈

J A あいづから町内3中学校の3年生へ「合格祈願米」を贈る贈呈式は昨年11月27日、町役場で行われました。贈呈式では、J A あいづの佐藤常務理事が「この米は、会津若松市立第六中学校の生徒が手植えし、収穫後は会津美里町の文殊院清龍寺で祈祷をしたコシヒカリです。おいしい会津の米を食べて、全員が志望校に合格するよう頑張ってください」と生徒らを激励し、各校の代表に人数分の米を手渡しました。

前後公町長と土屋重憲教育長も「頂いた合格祈願米を食べて、受験生の皆さんが全員志望校に合格し、未来を担う人材に成長することを期待します」と生徒を励ましました。

生徒を代表して猪苗代中の菅沼一路さんが「皆さんの応援を糧に、私たち受験生は一人一人が精一杯勉強し、全員が志望校に合格することを誓います。高校に入学してからも、勉強や部活など、さまざまな場で活躍し、『猪苗代』の名をアピールしたいと思います」とお礼と決意の言葉を述べました。



1_1歳児の「がんばれかめさん」(さくらこども園)。子どもたちのかわいらしい姿に、会場からは歓声が上がりました 2_年長児による白虎隊の剣舞(さくらこども園)。わが子の成長した姿に、涙を浮かべるお父さんやお母さんもいました 3_「オオカミと7匹の子ヤギ」(猪苗代幼稚園)。子どもたちが一生懸命覚えた劇を披露 4_年中児のリズム「金魚仮面がやってきた!」(猪苗代幼稚園)



一生懸命な姿に大きな拍手

町内の幼稚園、こども園などで発表会

昨年11月から12月にかけて、町内の各保育所、幼稚園やこども園で保育発表会が開かれました。このうち猪苗代幼稚園とさくらこども園の発表会は11月28日、それぞれ猪苗代小体育館とさくらこども園で開かれ、園児たちが日ごろの練習の成果を披露しました。一生懸命踊りや劇に取り組む子どもたちの姿に、会場を埋めつくした保護者から大きな拍手が送られました。



今シーズンの安全を祈願する関係者

シーズン中の無事故を祈願

猪苗代スキー場で安全祈願祭

猪苗代スキー場の安全祈願祭は昨年12月2日、同スキー場の「I・S・K」で行われました。祈願祭には町内の関係団体やスキー場関係者ら約50人が出席し、玉ぐしをささげて今シーズンの安全を願いました。神事後、山口幸雄猪苗代スキー場組合理事長が「今シーズンは、初めての企画として『いなわしろ冬の花火』を1月と2月に開催するので、たくさんの方のスキーヤー・スノーボーダーにおいでいただきたい」とあいさつをしました。

冬への備えは万全です

町道路除雪臨時運転手に雇用通知

町の道路除雪臨時運転手の雇用通知交付式は昨年12月2日、町役場で行われました。大川原久夫副町長が除雪班長の古川角次さんに雇用通知を手渡し、「早朝や夜間の勤務、連続勤務など、日常生活を犠牲にして勤務しなければならないことも多々あると思いますが、町民や観光客の皆さんの足を確保するため、しっかりと業務にあたってください」とあいさつしました。



21人の運転手を代表し、雇用通知を受ける古川さん(右)



町役場を訪れ、受賞を報告した酒井さん(右から2人目)

酒井壽さんが県知事表彰を報告

ボーイスカウトで青少年健全育成に尽力

このほど県青少年健全育成条例に基づく知事表彰を受けた酒井壽さん(本町)は昨年11月26日、町役場を訪れ、前後公町長に受賞を報告しました。この表彰は、酒井さんが日本ボーイスカウト福島連盟猪苗代第1団委員長、同会津地区協議会長などを務め、長年にわたり青少年健全育成に尽力した功績が認められたものです。酒井さんは「受賞は皆さんの支えのおかげ。今後も力になることがあれば協力していきたい」と感謝を述べました。

子どもたちの安全、安心のため

町内の児童、生徒らに内部被ばく検査実施

昨年10月から11月にかけて、町内の各小・中学校、幼稚園、こども園と保育所でホールボディカウンター(WBC)による内部被ばく検査が行われました。この検査は、福島第一原発事故があった2011年以降、県民が安心して暮らせるよう、県が実施しているものです。本町での実施は2013年以来2回目で、県の委託を受けた事業者が町内の各施設を巡回し、子どもたちに体表面汚染検査と車載式WBCによる内部被ばく検査を実施しました。



サーベイメーターによる体表面汚染検査(写真右)と車載式WBCによる内部被ばく検査(写真左)の様子。希望者が対象で、昨年は約1200人が受検しました



キラリ光る おらが村



数十年前に撮影された、地区住民の集合写真を指さし、「この人誰だか分かるかい」と尋ねる鈴木さん(右)



水田に稲の苗を手植えする写真、女学生たちがイナゴ取りをする写真など、昔の農作業の写真が多く展示されました

西館地区で歴史を振り返る写真展

町内の西館地区では昨年11月23日、同地区の八幡神社の祭礼に合わせて地区の歴史を振り返る写真展が開かれました。

この写真展は、同地区の石澤房明区長が企画。いなわしろ民話の会の会長などを務める、同地区の鈴木清孝さんが約40年間にわたって撮りためた写真のアルバムや展示にあたり借り受けた、たくさんさんのパネル写真が神社の中に所狭しと展示されました。

神事が終わると、展示してある写真について鈴木さんが解説。神社に集まった住民の皆さんは、振る舞われた豚汁などを口に運びながら、「懐かしいなあ」「こんな時代もあったんだな」と昔の農作業の写真を眺めたり、「この人、どこの家の人だろう?」と周りの人に尋ねたりしながら、地区の歩みに思いをはせていました。

笑顔でこんにちは



大好きなママ(後列右)、みんな(同左)、お兄ちゃん(前列左)と一緒に「ハイ、チーズ!」

「楽しく、笑顔の多い人生を歩んでほしいですね」。ママの悠加さんは、琳花ちゃんをやさしく見つめながら、そう話します。

長沼 琳花ちゃん

平成26年12月生まれ

～富永 大輔さん・悠加さん夫婦の長女

人懐こく、愛嬌たっぷりな琳花ちゃん。最近では走ることもできるようになり、「りんちゃんこーい」とお兄ちゃんのお空くんが呼ぶと、走って後を追いかけています。

「2人とも元気すぎて全然じつとしてないので、一緒に遊ぶのもなかなか大変です」。

そう話すママ、悠加さんの心強い味方が、パパの妹、みのりさん。琳花ちゃんたちはみのりさんのことが大好きで、家にいると「みんなー」とべったりなのとか。「よく面倒をみてくれるので助かります」と悠加さん。

たくさんさんの愛情に包まれ、すくすく成長中の琳花ちゃん。『子どもたちがもう少し大きくなったら、みんなで海やディズニーランドに行きたいね』とパパと楽しみにしています」と悠加さんは笑顔で話しました。

※「笑顔でこんにちは」に掲載希望の人は広報担当まで申し出てください。
☎(62)2111

スクールピックアップ

吾妻小の6年生が震災について学ぶ

吾妻小学校の6年生は昨年12月10日、社会科の授業で町役場を訪れました。

東日本大震災発生直後の本町、本県や国の対応とそれぞれの連携、被災地に対する支援などについて必要な情報を収集するとともに、復興を進めるため、町議会条例、予算や税金などについて話し合っただけで、町役場を訪れた児童12人は、議場で町議会の一般質問を傍聴。町議会では、よりよい町にするために、震災からの復興に関することだけでなく、町のさまざまな政策や課題について話し合っていることを知りました。

その後、児童は別室へと移動し、町職員から震災による町内の被害と町の対応、町内に設置された避難所の様子や町外からの支援などについて説明を受けました。

この日役場を訪れた児童は、震災当時は1年生。今まで知らなかった当時の話に興味津々の様子で、メモを取りながら熱心に耳を傾けていました。



写真上 町議会の一般質問を傍聴する児童



写真右 東日本大震災の講話の時間に、カメリーナが避難所として使われていた当時の写真を見る児童



小椋友恵さん 二瓶衣留さん

震災では近い地区で断水などの被害があったということを初めて知りました。

町のこれからのことについて議会で話し合っていることが分かりました。

いなわしろみらい会議 かわら版 No.3

我々が主体になって未来をつくります

第3回目のいなわしろみらい会議は昨年12月10日、学びなで開かれました。

会議では、メンバーが4班に分かれてワークショップを行い、豊かな地域資源に恵まれた町の未来を描きました。

移住者が増えるだろうと考えた未来には、まちづくりに興味のある人たちが協調し合う場がつけられると予測したグループがありました。

また、農業人口の減少、耕作放棄地の増加という厳しい未来を見据え、だからこそ夢のあるブランディングを積極的に描いたグループ。

町の未来をつくる主体は、我々「いなわしろみらい会議」のメンバーである、自分たちが主体となり、東京オリンピックが開催される2020年までに、町に新しい観光マネジメント組織が誕生する未来を描いたグループ。

とにかく現場を知らなければ未来は描けないと、情報を集め、ニーズに合ったNPOを立ち上げようと訴えるグループには、



ワークショップの参加者全員が賛同すると手を挙げました。

未来から今を見ると、町が変わるポイントが見えてきました。

最終回となる次回の会議は1月16日、「未来像を具体的に描こう」をテーマに、今後10年の手の打ちどころはどこかを明らかにしていきます。

会議の詳しい内容は、町ホームページでご覧いただけます。



募集

平成28年度放課後児童クラブ登録児童

放課後の生活支援や学校長期休業中の余暇支援を集団で行う児童保育（児童クラブ）の平成28年度の登録児童を募集します。

▼対象児童

①町内小学校に在籍する1年生から6年生の児童

②留守家庭の児童

▼開設場所・定員

左表のとおり

児童クラブ名	開設場所	定員
猪苗代第1・第2児童クラブ	猪苗代小学校敷地内	80人程度
翁島児童クラブ	翁島地区コミュニティセンター	40人程度
千里児童クラブ	千里地区コミュニティセンター	40人程度
緑児童クラブ	月輪地区コミュニティセンター	40人程度
長瀬児童クラブ	旧長瀬連絡所	40人程度
吾妻児童クラブ	吾妻小学校内いこいのスペース	40人程度

▼開設時間

①月曜から金曜の平日
放課後～午後6時

②土曜日、学校長期休業中、学校振替休日（運動会などによる振替休日）
午前8時～午後6時

▼支援内容

生活や余暇の支援

▼経費

①負担金 月額2千円
（減免規定があります）

②その他
教材費 月額1千円
傷害保険料 月額1千円程度
おやつ代 実費分

▼受付期間

平成28年1月4日（月）～
1月29日（金）

▼申し込み方法

保護者の希望による登録制です。利用申請書により、各児童クラブまたは保健福祉課へ申し込んでください。

負担金は、利用申請者の指定する口座からの引き落としとなります。初めて登録する人は、取引金融機関（銀行、JA、郵便局）に口座振替依頼書を提出してください。

利用申請書および口座振替依頼書は、各児童クラブ、保健福祉課、各保育所、各幼稚園、こども園に備え付けてあります。

▼その他

平成28年度放課後児童クラブ支援員

平成28年度の児童クラブ支援員を募集します。

▼募集人員

支援員 22人（予定）
補助支援員 若干名（補助支援員は、支援員が休暇を取る場合の代替として勤務します）

※どちらも町嘱託職員です。

▼資格要件

心身ともに健康で、平成28年4月1日現在で65歳以下の次のいずれかに該当する成人

①児童健全育成に熱意のある人

②保育士、社会福祉士または幼稚園・小学校・中学校・高校の教諭の資格を持つ人

③高校卒業者で2年以上放課後児童健全育成事業に類似する事業または児童福祉事業に従事した人 ほか

※詳しい要件については、保健福祉課にお問い合わせください。

▼勤務条件

①月曜から金曜の平日

ここから下は広告欄です。お問い合わせは直接広告主をお願いします

新築 猪苗代町川桁【全9区画】☆☆☆自由設計☆☆☆
＜モデルハウス完成＞

【所在：郡麻郡猪苗代町大字川桁字新町3593】



※当社指定の建築業者とさせていただきます。

＜A～I区画土地面積＞
205.00㎡～226.19㎡
(62.01坪～68.42坪)

お気軽にお問い合わせ下さい。

◎売主に付き仲介手数料はかかりません。

一土地から住まい創りまでー

株式会社 ダイエーホーム

フルタイム **0800-800-1172**
☎ 024-933-1171
福島県知事(6)第1521号 郡山市亀田1丁目48番11号(サンスカイビル1F)



東中学校
川桁郵便局
あいづ農業協同組合
●猪苗代東支店
現地

予防接種による健康被害の救済措置について

平成25年3月31日までに、市町村の助成によりヒトパピローマウイルスワクチン（子宮頸がんワクチン）、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンのいずれかを接種した人のうち、接種後に何らかの症状が生じ医療機関を受診した人は、接種との関連性が認定されると医療費・医療手当が支給される場合があります。

心当たりのある人は、具体的な請求方法などについて、独立行政法人医薬品医療機器総合機構の救済制度相談窓口にお問い合わせください。

●電話 フリーダイヤル 0120(149)931
利用できない場合は、
03(3506)9411(有料)

冬期間の水道料金は推定料金を徴収します

冬期間は積雪により水道メーターの検針が困難であるため、一部を除き認定（推定）料金での徴収になります（下水道使用料も同様）。

水道

ください。履歴書は保健福祉課に備え付けてあります。

▼問い合わせ先
保健福祉課 社会福祉係
☎(62)2115

行政相談委員に相談してみませんか

行政相談委員が役所（国、県、市町村）や特殊法人（NTP、JRなど）の仕事についての相談に応じ、その解決のお手伝いをします。

定例相談会は毎月1回、第3水曜日に開催しています。お気軽にご相談ください。

▼開催日時
1月20日（水）、2月17日（水）

相談

期間は1月から4月分までの4カ月間です。この期間は、10月から12月分の使用水量（または前年度実績）の平均を認定（推定）料金として徴収します。

実際に使用された分との差額は、4月下旬からの水道メーターの検針結果に基づき、5月以降の料金で精算します。

冬期間に凍結などによる漏水などがあった場合、5月精算料金が過大になりますので、給水装置の管理には十分注意してください。

▼問い合わせ先
上下水道課 水道管理係
☎(62)5622

有料広告募集中

町は、「広報猪苗代」に掲載する有料広告を募集しています。事業所の宣伝、広告などにぜひご活用ください。手続きや料金など、詳しくは下記にお問い合わせください。

総務課 秘書広報係 ☎(62)2111

人権擁護・行政相談委員合同相談会

町では、次の日程で人権擁護委員と行政相談委員の合同相談会を開催します。人権問題や法律についてこの機会にぜひご相談ください。

▼開催日時 2月5日（金）

午前10時～午後3時

▼場所 町役場3階 日本間

▼その他 相談無料・秘密厳守

▼問い合わせ先

総務課 秘書広報係

☎(62)2111

11 2016-1 広報 猪苗代

10 広報 猪苗代 2016-1

猪苗代町議会議員一般選挙

【告示日】 2月16日(火)

【投票日】 2月21日(日)



私たちにとって最も身近で、皆さんの生活に直接関係する町議会議員の一般選挙は2月21日(日)に執行されます。議員定数は15人です。

選挙は、主権者である私たちの「生の声」を政治に反映させる最大のチャンスです。日々の暮らしをよくするための大事な意思表示の場でもあります。

棄権しないで投票しましょう。

投票できる人は

投票できる人は、選挙人名簿に登録され、次の要件を備えている人です。

●国籍・年齢要件 平成8年2月22日までに生まれた日本国籍を持つ人

●住所要件 平成27年11月15日までに転入の届け出をし、引き続き町内に住んでいる人

投票時間は午後6時まで

投票できる時間帯は、町内の各投票所とも、午前7時から午後6時までとなっています。

投票所へ行くときは、入場券を持参してください。

期日前投票は午後8時まで

投票日当日、仕事、旅行や入院など、やむを得ない理由のため投票所に行くことができない場合は、期日前投票をすることができます。

●期間 2月17日(水)～2月20日(土)

●時間 午前8時30分～午後8時

●場所 町役場1階 町民ホール(正面玄関右)

●持参する物 入場券

※不在者投票

指定病院や老人ホームなどに入院・入所している人は、施設内で投票(不在者投票)ができます。あらかじめ当該施設などにお尋ねください。

開票は町総合体育館(カメリーナ)

開票は即日、午後8時からカメリーナで行います。
※開票会場にお越しの際は、必ず上履きを持参してください。

立候補を予定している方へ

町議選に立候補するためには、本町に選挙権がある満25歳以上の人で、次の規定に違反しないことが条件です。

○重複立候補の禁止

○被選挙権のない人の立候補禁止

○選挙事務関係者・公務員の立候補制限

立候補の届け出は、2月16日(火)の1日だけです(受付時間は午前8時30分～午後5時です)。

選挙運動期間は、2月16日(火)～20日(土)の5日間です。

立候補予定者説明会

立候補予定者説明会を次の日程で開催します。

●日時 1月15日(金) 午後1時30分

●場所 町役場正庁(3階)

●問い合わせ先

町選挙管理委員会事務局 ☎(62)2111

新年あいさつ交歓会
を開催します

催し



昨年の新年あいさつ交歓会の様子

平成28年の年頭に、さらなる町政進展を誓うため「新年あいさつ交歓会」を開催いたします。どなたでも参加できます。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

▼日時 1月4日(月) 午前11時

▼場所 町役場3階 正庁

▼会費 500円

▼問い合わせ先 総務課 秘書広報係 ☎(62)2111

意見箱

皆さんの建設的なご意見をお寄せください

町は、町民の皆さんとの協働によるまちづくりを進めるため、ご意見やご提案をお寄せいただく町民意見箱「ご意見箱」を設置しています。

より良いまちづくりのため、皆さんの建設的なご意見をお寄せください。

▼設置場所 役場庁舎、カメリーナ、学びのな、和みいな(郵送やFAXでも受け付けます)

▼回答方法

広報猪苗代で回答します。

▼記入にあたってのお願い

- ・ご意見は内容の趣旨がわかるように、具体的に記入いただくようお願いいたします。
- ・他人を誹謗、中傷するものや営業、宗教、政治活動などに関するものは遠慮ください。
- ・氏名、住所および連絡先をご記入ください。
- ※頂いたご意見の内容によっては、確認のためご連絡させていただきます。ご了承ください。なお、広報で回答する際には、氏名を伏せて掲載します。

▼送付・問い合わせ先 総務課 秘書広報係 ☎(62)2111 FAX(62)5175



掲示板

告示

・第73号「国民健康保険被保険者証再交付に係る無効告示」(町民生活課国保年金係)

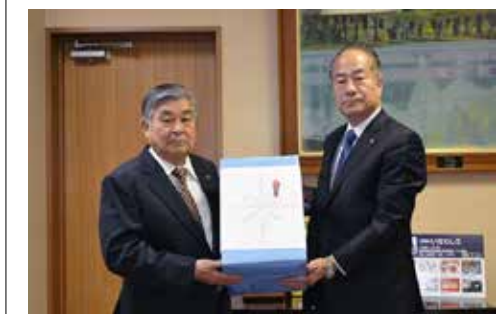
公告

・第41号「猪苗代農業振興地域整備計画変更の公告」(農林課農業振興係)

※告示・公告された内容については、役場前掲示板をご覧になるか、それぞれの担当課に問い合わせください。

善意をありがとうございます

○(株)福島情報処理センター創業50周年記念として プロジェクター1台



前後公町長にプロジェクターを手渡す(株)福島情報処理センターの鈴木正博代表取締役社長(右)

○野口英世博士のふるさと猪苗代応援寄付金として

半澤 一明さん(東京都)	100,000円
藤田 光常さん(千葉県)	50,000円
矢加部 文さん(東京都)	10,000円
服部 牧夫さん(福島市)	30,000円
新明喜代司さん(茨城県)	20,000円
杉山 忠博さん(埼玉県)	10,000円
吉田 稔さん(東京都)	50,000円
松田 英成さん(京都府)	30,000円
大治 茂雄さん(東京都)	100,000円
山口富美子さん(神奈川県)	50,000円
星 一輝さん(埼玉県)	50,000円
山崎 洋介さん(東京都)	100,000円
安島 春洋さん(東京都)	50,000円

猪苗代警察署管内の犯罪・交通事故
発生状況（平成 27 年 11 月 30 日現在）

1 犯罪発生状況

町村別	年別	平成 27 年	平成 26 年	増 減	増減率%
猪 苗 代 町		73	53	20	37.7
磐 梯 町		23	11	12	109.1
裏 磐 梯		13	6	7	116.7
計		109	70	39	55.7

町村別		猪苗代町		磐梯町		裏磐梯	
罪種別		27 年	26 年	27 年	26 年	27 年	26 年
窃盗犯計		60	29	18	10	13	5
	空き巣	3	2	1			
	金庫破り		1				
	事務所荒らし			1			
	出店荒らし	8	1			1	
	倉庫荒らし	4	3	1	2		
	侵入盗その他	14	2	6	4	2	
	置き引き	3	2				
	車上ねらい	4	2		1	4	5
	部品ねらい	2	1				
	脱衣場ねらい						
	自販機ねらい						
	万引き	6	3				
	職場ねらい	1		2			
	さい銭盗						
	畑荒らし						
	スキー・スノーボード盗			4		2	
	非侵入盗その他	7	10	3	3	3	
	自動車盗		1				
	オートバイ盗						
	自転車盗	8	1				
その他の乗り物盗						1	
暴行・傷害	2	6	1				
詐欺・横領	3	6	3	1			
遺失物等横領							
器物損壊	5	7	1			1	
その他の刑法犯	3	5					
総 計		73	53	23	11	13	6
増 減		20		12		7	

○なりすまし詐欺に注意！家族や警察官、銀行協会職員などを装い、お金をだまし取る詐欺が増えています。話の中で、お金の手渡し・振り込みの指示があったときは、すぐに家族、知人か警察（110 番）に相談してください。

2 交通事故状況

死亡事故	0	1	0	0	0	0
増 減	-1		0		0	
人身事故	47	75	13	17	2	3
増 減	-28		-4		-1	

○シートベルトには事故被害軽減に大きな効果があります。助手席、後部座席も着用しましょう。
○夜間、歩いて外出する際は、必ず反射材を身に着けましょう。

労 働

県内の産業別最低賃金が改正されました

No.	業種	最低賃金額
①	計量器・測定器・分析機器・試験機・測量機械器具・理化学機械器具、時計・同部品、眼鏡製造業	801 円 (787 円)
②	自動車小売業（二輪自動車小売業（原動機付き自転車を含む）を除く）	800 円 (785 円)
③	非鉄金属製造業	816 円 (802 円)
④	電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業（医療用計測機製造業（心電計製造業を除く）を除く）	767 円 (753 円)
⑤	輸送用機械器具製造業	803 円 (789 円)

※最低賃金額は時間額です。
※かつこ内の金額は改正前の最低賃金額です。
※次に掲げる人は福島県最低賃金（705 円）が適用されます。
・18 歳未満または 65 歳以上の人
・雇入れ後 3 月未満の人で技能習得中の人
・主に清掃その他これに準ずる軽易な業務に従事する人
・④のうち、主に小物物品の包装などの業務に従事する人
■福島労働局労働基準部賃金室
☎ 024 (536) 4604

消 防

1 月 26 日は
文化財防火デーです

文化財は国民の財産です。文化財愛護思想の普及と防火・防災意識のさらなる高揚に努め、将来に継承すべき貴重な文化財を火災から守りましょう。



天鏡閣での文化財防御訓練の様子。町の貴重な文化財を守るため、町消防団、猪苗代消防署などが毎年 1 月下旬に訓練を実施しています

消火栓などの除雪にご協力お願いします

消防署、消防団は火災発生時に消火栓・防火水槽を使用し消火活動を行います。自宅の周囲に消火栓などがありましたら、除雪をお願いいたします。また、消火栓・防火水槽の周りには雪を捨てないでください。ご協力をお願いいたします。

年末年始特別警戒実施中
12 月 15 日～1 月 15 日

■猪苗代消防署 ☎ (62) 4433

除雪機による事故を防ごう！

毎年、雪のシーズンになると除雪機による事故が多発しています。除雪機は使用者の責任において、正しく、安全に使用しましょう。

人がいる時は使わない！



作業中は絶対にまわりに人を近づかせない。

エンジンを掛けたまま
離れない！



作業の時以外は、必ずエンジンを停止する。

雪かき棒を使って！



雪詰まりを取り除く時はエンジンを止めて必ず雪かき棒を使う。

後方注意！



後進する時は、足元や後方の障害物に気を付ける。

■日本農業機械工業会／除雪安全協議会 ☎ 03 (3433) 0415

就職支援

テクノアカデミー会津
セミナー受講者募集

テクノアカデミー会津では、下記のとおりセミナーの受講者を募集します。

- 募集コース 3 級自動車整備士（シャシ）受験対策
- 日時 3 月 9 日（水）
午前 9 時～午後 4 時（6 時間）
- 授業料 1,900 円
- 申込締め切り 2 月 24 日（水）
- 定員 10 名

- 対象 資格試験受験者（振興会主催の講習を受講されている方）
- 詳細 本校ホームページ（http://www.tc-aizu.ac.jp/「経営企画部門」）をご覧ください。
- 申し込み方法 受講申込書に記入し、下記へメール、郵送、持参もしくは F A X で提出してください。受講申込書は、本校ホームページからダウンロードできます。
- テクノアカデミー会津
〒 969-3527 喜多方市塩川町御殿場 4 丁目 16 番地
☎ 0241 (27) 3221
FAX 0241 (27) 3312
Mail : aizu-ta@pref.fukushima.lg.jp

プライバシー保護のため、ホームページ掲載分の
消息欄は削除しました。ご了承ください。

町の人口

27 年 11 月 1 日現在の現住人口

人 口	14,739 人
世帯数	5,044 戸
出生 3 人	転入 27 人
死亡 32 人	転出 35 人

●町県民税 4 期分
●国民健康保険税 7 期分
●介護保険料 7 期分
●後期高齢者医療保険料 6 期分
●上下水道使用料 1 月分

今月の納期

（納期限 2 月 1 日）

編集後記

明けましておめでとうございます。町民の皆さんには、昨年も取材などで大変お世話になりました。ことしも取材に伺った際には、素敵な笑顔をお願いいたします。▼新年にあたり、抱負をひとつ。ことしは記事に誤りが無いよう、余裕を持って編集作業にあたりたいと思います。▼ことが皆さんにとって良い年でありますように。（矢森）

みんなの美術館

1月は千里小学校のお友達の作品です

Our Museum



「モチモチの木」

全体の色使いをよく考えて描きました。夜空の青は、濃くしたり、薄くしたりして、木の色も周りになじむ色にしました。筆でたたいて塗った木の灯りが、特に上手にできました。



佐久間かなさん(3年)



戸野部太郎さん(5年)

書道「飛行」

「飛」をうまく書くのが難しかったけど、バランスよく書けました。名前の「戸」も上手に書けたと思います。漢字を覚えるのが好きなので、国語辞典や漢和辞典を見るとワクワクします。



食生活改善推進員コーナー

～旬の野菜でカンタン料理～

No.223

冬野菜の彩り蒸し (メタボ予防メニュー)



【材料】4人分

にんじん 1本・キャベツ 6枚・たまねぎ 1個・ブロッコリー 1/2個・しいたけ 4個・さつまいも 2/3本・レンコン 1/2個・えのき 1パック・鮭 2切れ・しょうが 30g・ポン酢しょうゆ 大さじ2・レモン 1/4個

【作り方】

- ① にんじん、キャベツ、たまねぎ、ブロッコリー、しいたけは食べやすい大きさに切る。さつまいも、レンコンは輪切り、根元を落としたえのきは小房に分ける。
- ② ①と一口大に切った鮭を蒸し器で15分ほど蒸して、軟らかくなったら皿に盛りつける。
- ③ すりおろしたしょうがとポン酢しょうゆを混ぜ合わせ、②にかけてレモンを添えたら出来上がり。

【一人当たりの栄養量】

エネルギー 159kcal、塩分 0.8g

■一口メモ■

一品で野菜の1日の摂取目標量である350gの2/3を食べることができます。よくかんで食べると満腹感が得られるので、食べ過ぎを防ぐため、軟らかくしすぎないことがポイントです。